

創立 70 周年記念  
静岡大学・読売新聞連続市民講座 2019

# 令和を生きる

## 新時代への展望

第1回 7月6日(土)

自然災害と防災対策

講師：原田 賢治 准教授

(防災総合センター / 自然災害科学、防災学)

第2回 8月17日(土)

日常と非日常からみるこころと脳の科学

講師：宮崎 真 教授

(情報学部 / 神経科学、身体教育学)

第3回 9月7日(土)

環境は持続可能か？

～微生物による環境浄化の開発～

講師：新谷 政己 准教授

(工学部 / 環境微生物学)

第4回 10月5日(土)

スポーツによる地域の活性化

講師：村田 真一 准教授

(地域創造学環 / スポーツ経営学)

第5回 11月2日(土)

人工衛星データが語る

富士山・伊豆半島周辺の動き

講師：三井 雄太 講師

(理学部 / 地球物理学)

平成は、人口減少社会、大規模自然災害の頻発、環境問題など多くの課題に直面し、新たな対応が模索されました。

平成から令和へと移った本年は、静岡大学創立 70 周年でもあります。本講座では、様々な視点からこうした課題を改めて検討し、生き方や暮らしのあり方を見つめ直しながら、これからの時代を展望します。

参加  
無料

時間○14:00～16:00

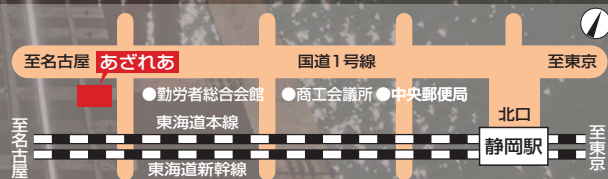
会場○あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6F大ホール

定員○各回250人

主催○静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

※4回以上ご参加の方には修了証を発行します。

※本講座は「しずおか県民カレッジ」の連携講座です。



【住所】〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

【アクセス】JR静岡駅から国道1号線沿いに西(安倍川の方)へ徒歩9分

写真：大井川鉄道 奥大井湖上駅

FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。

(FAX) 054-252-0310

(メール) shizuoka@yomiuri.com

(葉書) 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F  
読売新聞静岡支局 静岡市民講座係

※氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号、参加される回を明記してください。

申込先

お問い合わせ

内容に関するお問い合わせ

受付に関するお問い合わせ

静岡大学 地域創造教育センター  
地域人材育成・プロジェクト部門  
TEL 054-238-4817 [平日9:30～16:00]  
メール:kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

読売新聞静岡支局 静岡市民講座係  
TEL 054-252-0171 [平日9:30～17:00]  
メール:shizuoka@yomiuri.com

# 令和を生きる～新時代への展望～

<p>第1回 7/6 (土)</p>	<p><b>「自然災害と防災対策」</b> 自然災害は、自然現象によって我々の社会に人的・物的な直接被害や社会的な間接被害をもたらす現象です。自然現象を理解するだけでは、被害をなくすことはできません。防災対策とは、社会における災害の発生をなくすことを目的とした様々な活動を意味しており、新技術開発や社会制度の変更を社会実装することにより安全な地域社会に変えていくことが可能になります。さらに、防災対策は地域の価値と対立する存在となることがあり、最適解を見つけることは難しい課題となります。事例なども合わせて紹介したいと思います。</p> <p>■講師:原田 賢治 准教授 (防災総合センター／研究分野:自然災害科学、防災学)</p>
<p>第2回 8/17 (土)</p>	<p><b>「日常と非日常からみるところと脳の科学」</b> 私たちが直接観ることができるのは自分自身の「こころ」のみであり、自分自身の経験/体験こそが「こころ」を探求する手がかりとなります。心理学や神経科学は、日常でのちょっと不思議な経験からヒントを得て発展してきました。また逆に、実験室や特殊条件下で初めて顕になった非日常的な体験も心理学や神経科学のブレークスルーとなってきました。本講では、“身体”と“時間”をキーワードに、日常と非日常からみる「こころ」と「脳」の科学を紹介したいと思います。</p> <p>■講師:宮崎 真 教授 (情報学部／研究分野:神経科学、身体教育学)</p>
<p>第3回 9/7 (土)</p>	<p><b>「環境は持続可能か?～微生物による環境浄化の開発～」</b> 人類による文明社会の進歩は、我々に豊かな生活をもたらしてきました。しかしそれに伴って、人為起源の化合物のいくつかは、長く環境に留まることで、地球規模の生態系に影響を与えつつあります。演者らは、こうした化合物を「餌」として生きていくことのできる、人間の目に見えない微生物について研究を行ってきました。講演では、これからの持続可能な社会づくりの実現に向けて、こうした微生物の多様な機能を利用した環境浄化の手法開発について、最新の話題とともにお話します。</p> <p>■講師:新谷 政己 准教授 (工学部／研究分野:環境微生物学)</p>
<p>第4回 10/5 (土)</p>	<p><b>「スポーツによる地域の活性化」</b> 今日、スポーツがもたらす効果的特性の一つに地域活性化が挙げられ、それに関する取り組みも盛況です。しかしながら、改めてスポーツと地域の関係性を考えると、そこで示されるスポーツの意味や、地域の内実については必ずしも明らかにされておらず、ぼんやりとしたイメージでしか語られていないように思われます。このような問題意識から、活性化をめぐるスポーツと地域の“見方・考え方”を基に両者の関係性について言及します。</p> <p>■講師:村田 真一 准教授 (地域創造学環／研究分野:スポーツ経営学)</p>
<p>第5回 11/2 (土)</p>	<p><b>「人工衛星データが語る富士山・伊豆半島周辺の動き」</b> 静岡県は、プレートの境界に位置するため、地震・火山活動と縁深い土地になっています。人工衛星の一種である GNSS は、cm オーダーの地表変位を捉えることができ、地表のどこがどのようにどれくらい動いているかについて、我々に教えてくれます。国土地理院の観測網による地表変位データを基に、静岡県、特に富士山や伊豆半島周辺の地下で何が起きているのか、お話します。</p> <p>■講師:三井 雄太 講師 (理学部／研究分野:地球物理学)</p>